

寒さが続いています。

新デイ開業にあたり送迎車の整理を行っている。

開業してから介護用に何台自動車を買ったことか。

訪問用（看護、ケアマネ、ヘルパー）とデイサービス送迎など 40～50 台か。

軽自動車やワンボックスカーが主だ。さすが新車ばかりでは高額ゆえほとんど中古車を購入している。

30 年近く前の第 1 台目はまだネット買取ができず。紙広告で捜して店頭で仮契約。翌日、別の広告で 10 万円近く安い同様の車を見つけた為、断りに行ったところ 2 万円近くの違約金を請求された。以後、車の決定には細心の注意を払うようになった。

ネットで車種、製造年、走行距離あたりをつけて、予約して見学。

初めは愛知県。次第に東海 3 県へ。ただし車イス対応など特殊な車は台数が少ない為、最近では関西まで出向く。

今回、購入した 3 台は神戸 1 台、大阪 2 台。朝一番の新幹線で見学後 OK なら契約し、1 ヶ月後に再訪して乗って帰って来る。せっかくだから帰りに見物がてら名所を回って来られたらラッキーというわけ。ちなみに車は、銀色が汚れが目立たず夏も車内が比較的涼しくて良い。（黒は暑くて汚れが目立つゾ。）安全運転し長持ちしてもらいたいものだ。

閑話休題、先日医師会の新年会で、80 歳の老医師から妻の介護のスピーチを聞いた。それまでヘルパー、ナースに「ああせい、こうせい」と命令していたのが逆転。いろいろ手伝っても妻から「それじゃあかん」とダメ出しを喰らう毎日。

ただし明るい声でとっても前向きで「毎日勉強になって楽しい」。いいなあ。

思わずスピーチ後握手を求めた。私は直接介護の経験は無いが、想像しつつの疑似体験は大切だ。老後にはたとえば、退職後あれもやりたいこれもやりたいの前向きな前段階と、そのピークを越えたもう何もできないが考える事だけは何とかなるという後段階がある。

私はまだ前者だが、後者についても想像しておくのが良いと高橋源一郎著「僕たちはどう老いるか」で読んだ。得てして社会のお荷物と言われかねないが、実は本人と家族において積極的な意味を持つ。

個人的にも仕事する上でもきちんと認識しておかなければいけないことだと思う。

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内秀俊



いつも和気あいあい♡
どんな時も楽しんで



四月オープンに向けて着々と
出来上がっています。



漢字のコマ置きは頭の体操
もう少しで出来上がり
協力し合って仲間づくり



昔取った杵柄
「指ぬき」つけて
スイスイと針が動きます。
※雑巾作りをしていただ
いています。



ハーブでは、訪問診療・訪問看護・ケアマネジャー・デイサービス・認知症対応型共同生活介護を提供しており、多方面からご利用様をサポートしております。↓



発行元：医療法人ハーブ内科皮フ科
株式会社ハーブライフケア
所在地 知多郡阿久比町横松宮前 67
TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753